



凡 4
1543
9

洛陽名所集卷之九目錄

北野きたの

款述堂くわんじゆたう 遠教えんけう

地勢院ぢせいついん

不空ぶくう

門野かど

西方寺さいほうじ

植尾うゑお

本鴻ほんこう

觀音寺くわんおんじ

高雄たかお

柘尾しよお

淨土堂じやうどたう

神護寺かみごじ

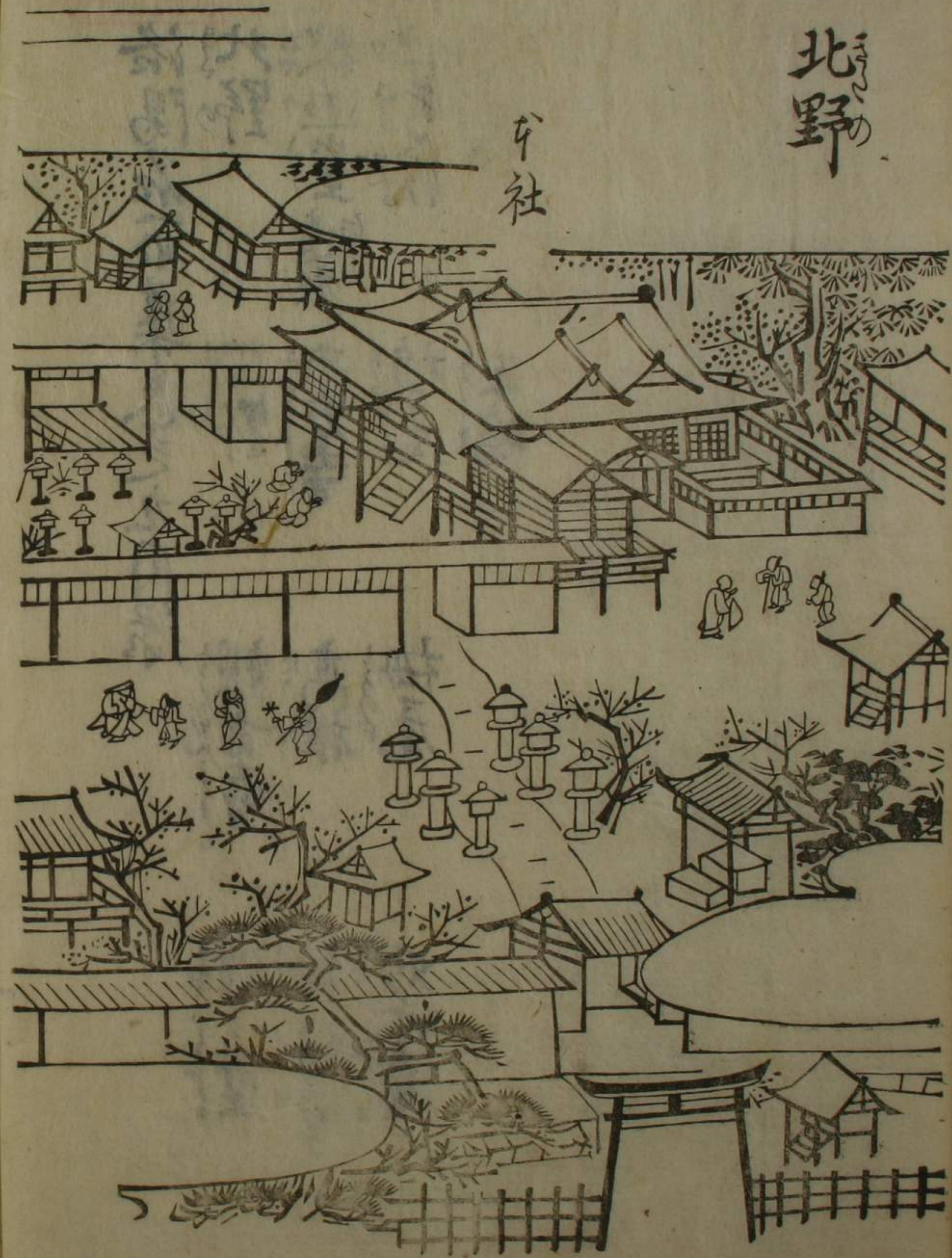
妙心寺めうしんじ

あのみや



北野きたの

社



念院



五ノ山

念院の松

念院



小野

○けふは都城乃小西也。天厭え多に菅原神席
成りけり。宮社法管もしく繁期にけり
くづる店移りたりたのび。さう清人
りんびりけり。さすま。さん威もしくが
しく。刀らるるる

小野の天神ハ右大臣菅原朝臣の聖也。ち天徳
日命ひのみことらるる。歴世れきせいにけり。清公せいこうより。公
公まら子。是善公。善ももに。巨儒こぶのりて。龍りゅう
く。善乃男。右大臣。名ハ道真字ハ元。つ
う。く。類るい悟ごもしく。木き父ふは。よ。く。あ。つ。

貞観二年之月。天皇幸于^宮。補^す。同九月。保
業生也。於^於。十三年三月。二十日。對策及
第一。十八年。侍衛。元慶六年。渤海
國。乃使^遣。法儒。右大臣の
符^符。蓋^蓋。以^以。見^見。て。終^終。り。て。ソ^ソ。い^い。り。る。ハ。風^風。制^制。の。旨^旨。を。奉^奉。り。て。瀋^瀋。陽^陽。府^府。に。
子^子。假^假。し。寛平五年二月。夫^夫。議^議。の。事^事。なり。六年。月
門^門。に。吉^吉。禪^禪。院^院。の。く。か。り。た。り。て。九^九。年。六
月。中^中。納^納。言^言。の。か。り。大^大。將^將。と。し。の。
昌^昌。泰^泰。二年二月。右大臣より。右大將より。な。こ
の時。左大臣は。左大將藤原朝臣時平。か。り。て。上

皇の勅^勅。を。う。け。天子と輔佐^{輔佐}。し。たり。ぬ。初^初。め。帝
年十四。の。く。て。お。も。い。の。位^位。に。は。り。て。終^終。り。
一日。結^結。願^願。は。上^上。皇^皇。の。御^御。前^前。に。あり。し。上^上。皇^皇。帝
よ。つ。り。り。の。あ。ら。は。れ。右^右。大臣^臣。に。は。り。て。終^終。り。
也。任^任。命^命。せ。り。て。右^右。大臣^臣。の。く。終^終。り。
して。止^止。け。り。右^右。大臣^臣。は。大^大。い。う。く。も。り。
光^光。朝^朝。臣^臣。菅^菅。根^根。朝^朝。臣^臣。の。お。も。い。て。左^左。大
臣^臣。の。妹^妹。皇^皇。后^后。の。お。も。い。て。終^終。り。終^終。り。終^終。り。
く。お。り。し。り。て。遂^遂。に。昌^昌。泰^泰。四年正月。二十日。太^太。皇
權^權。帥^帥。は。左^左。大臣^臣。に。お。も。い。て。終^終。り。終^終。り。終^終。り。
延^延。喜^喜。二年二月。二十日。配^配。所^所。を。薨^薨。じ。終^終。り。

しつふらり。安樂寺よぞ。延喜九年九月十九日を
平家御書に「初子の平家家郷集一卷也云。詩

文と菅家文を早經に家存のくこの菅家日記は

菅家の後集四巻。やうしつろの菅家日記は

しつろ右大臣。諸儒を招きとい文は天皇實

録下巻を修し。右大臣藤原光長。又曰は他

うり之代實録等より。部類して類聚

國史のそま書二巻を修し。延長八年

八月。藤原朝臣菅原朝臣。九月。たむらひ

聖元。十四年。京師災い。延長九年。二月

太子。保の親の聖元。都下。菅原聖

乃、出つ、るり、つ、日八、六月、雷、涼殿、

お、藤、五、清、貫、平、希、也、も、震、死、一、兼、平、

九年、延、曆、年、災、之、天、慶、三、年、七月、菅、原、右、

京、七、條、坊、の、婢、文、子、も、も、の、女、託、之、右、近、出、

世、女、ま、ま、ら、つ、ん、と、や。天、曆、元、年、初、と、小、野、

う、ひ、り、く、け、く、り、多、が、な、れ、九、年、三、月、近、江、の、

國、比、良、社、乃、禊、禊、良、種、に、託、し、つ、多、心、き、つ、

大同、乃、小、野、女、一、夜、よ、る、む、ま、松、花、生、れ、ん、社、と、い、

天、滿、天、神、少、つ、の、び、ら、く、と、や。朝日寺の僧最良。京
の文字と力を文を靈福達
て、他、三、年、右、大臣、藤、原、師、輔、大、慶、派、あ、り、た、め、

ほ、く、つ、も、み、ら、り、て、外、威、減、く、や、も、ひ、は、三、年、九、月、

一懸沙待入小野菅中只愛梅くしの白あり
羅之の道春撰若人の神社考よ洪序と云まの
賛天中曰日本菅岡小野菅中梅遠海又能文
彌右西之介之守室一平也甚度海内之守也
よ宏学の老儒のふりくつてせつたさうらつ

菅神乃靈性なり。販夫竈婦よりぐにじや
くくくわづめ諸國徽邑よはひあさゆらぬ
くくく紀伊國和之浦菅中乃碑銘滕敏史
愷富先生云々他也。句意はと感觸あり。歎息
涙増しり。先中余の師冷泉為景朝臣の嚴文

りて本朝中興の鴻儒をうさぐさいふなり。朝臣
継業此れはくせんつづく。志も超邁の拙實なり。且
ハ敬智博學ありて後光明帝乃師徳よはか
くくくくぬつと出。慶安壬辰の年二月二十
九月ハ菅神をんて百九十年回乃正當あり。菅
前ハ十灯とたく。修祠をくくくかり地時
に朝臣教首の待るは吟詠者せし。余も人
春節うすくそく乃送當日のくくくくく
つくくくくくくくくく。添削をうけ海内し
そ同日ハ室庫よはひ納し。きりくくくくく
時くはたつとがめく。曹子建七歩の詩あり

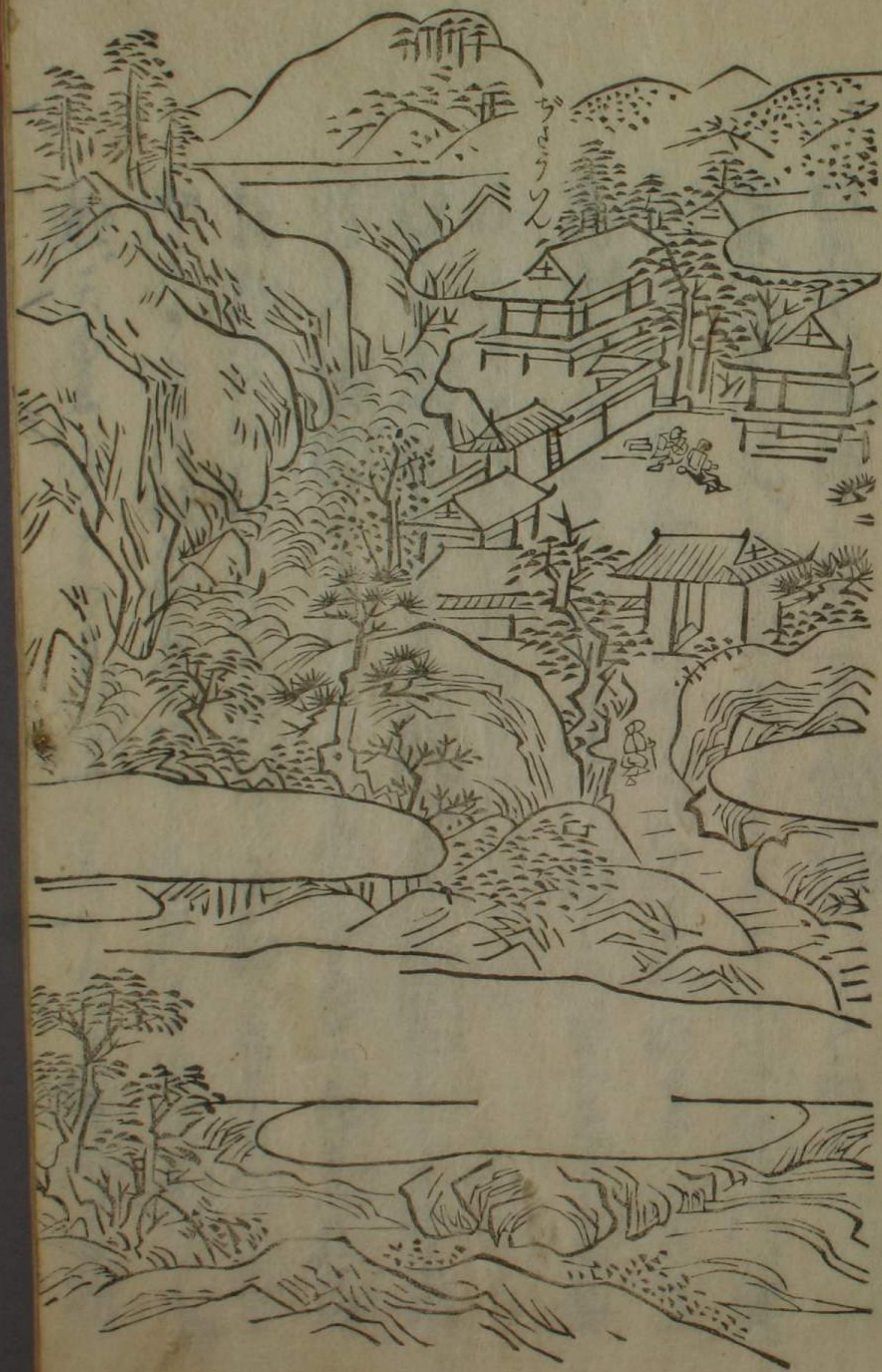
いふ時よ、つやの音の結ばしつらふかハ尚勝も
じつとくも、納乃詩序、一日中に、
かやせき、まきけるいふ、
いふ、まらう、と、だん、と、さ、あ、わ、る、ん、あ、い、ら、め
結ぶ、ま、け、つ、を、は、し、つ、に、ま、う、ら、う、
さ、め、し、と、ち、つ、て、ま、の、の、い、し、ん、や、
ま、ら、む、せん、日、の、と、紙、ま、に、す、つ、を、
さ、つ、か、ぞ、ゆ、さ、つ、さ、な、つ、び、や、
衣、笠、大、臣、乃、ま、の、に、時、鳥、た、の、音、さ、つ、も、る、の、
は、つ、小、野、小、橋、花、さ、つ、ま、ら、う、
家、の、ま、の、つ、ま、さ、つ

内野

○けいせいの、右をの馬場、上、と、ま、や
為家、之、の、い、ま、せん、肉、の、芝、を、
後、深、平、院、が、將、肉、侍、の、に、丸、を、
肉、の、乃、ち、に、つ、ま、く、ま、ら、う、
あ、ら、う、と、ま、ら、う、ま、ら、う、

観音寺

○けい寺ハ、
山本、大、臣、
管、仲、
切、年、の、



高雄

補護寺

○ けち、洛陽より一里餘乾乃るや

玉葉集に冬基のよるを山洛陽川

衣よみく谷けむらふまらの下みくら

高森上人のに洛陽乃漱の思なるを

山人も風はる風や方に一む

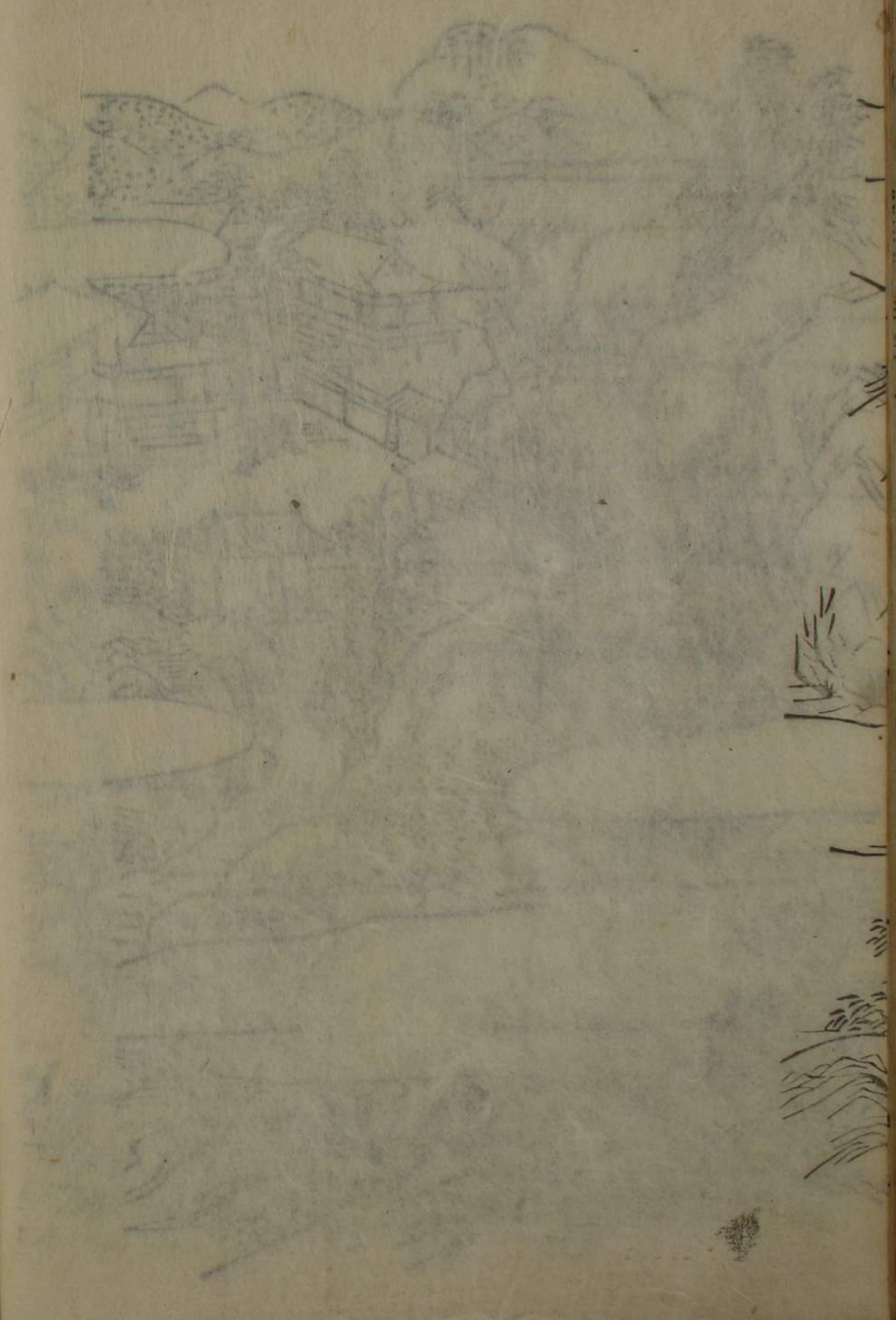
ひり者謙天皇より削入道は寵一のあは

位は讓脱のくんとく宇佐宮へ和氣松名

或勅使にたくらけふ神さるべし

やうのゆは松名よりりまのしに奏

也天皇さるるをりりまのしに奏



なごのうららげふまゝの三田の秋れ多よるひ
水にうけくらふきなる井乃がげをさるゝ
このうららげも夕日くや身ゆく人か秋う
うららげをさるゝ風よらるゝおそくあうららげ
しそららげをさるゝこれなるめはて機械化
して桐梅とさるゝしそららげ宋山に何らさるゝや
靈運ハ曉雲乃ハ嚴武ハ客然ハ成り
郭功父ハ蜀錦ハにそららげ信ハ吳江ハ
なごのうららげも車はさるゝ二月の花と何らさるゝ
く杜牧ハさるゝむげふまゝくさるゝをさるゝ
は照山横浦ハ吳融ハ入唐荆川ハ夕陽

中はけり。徐玉泉ハ瀧城居やたのめらるゝ

とげふまゝさるゝや

とらるゝ。同友來ハに数事ハ誘ハレ。け地の

みる糸のんゆる。村 高雄山尚屋楓樹一般新中

覆松名履波冷真浪身黄洗葉寺西江淫或陵春

人そ無鴨宿林向似霽晨

地藏院

け院うららげ下なる瀧らるゝに刀あうららげ
風うららげふまゝ人ハ土哭ハなげけらるゝゆるま
子のそらるゝ吹あうららげらるゝえらるゝに
うららげ。俗にけらるゝけらるゝや

正月誕生しけり。其時、魚もや、花もや、にみ
ゆる。六、四歳乃と記。重國に、しよ、鳥
帽、は、せ、く、の、ぶ、ふ、ふ、美、見、い、け、い
う、な、る。冠、中、と、く、入、仕、途、に、り、げ、ら、ん、や
や、り、小、児、を、そ、つ、に、お、も、を、く、僧、儀、の、こ
ち、さ、ら、し、く。官、属、は、祿、づ、し、次、も、さ、の、ん
と、け、な、さ、ら、う、む、け、く、も、さ、ら、や、う、な、ん、と、ん
庭、下、に、投、げ、け、り、づ、く、さ、ら、い、い、づ、れ
侍、を、ぞ、お、い、さ、さ、ら、お、も、の、び、亦、火、が、日
り、ら、う、火、箸、と、つ、面、に、や、さ、あ、と、と、ん、と
ゆ、え、ら、う、ら、う、に、花、鬘、に、あ、て、り、し、し、

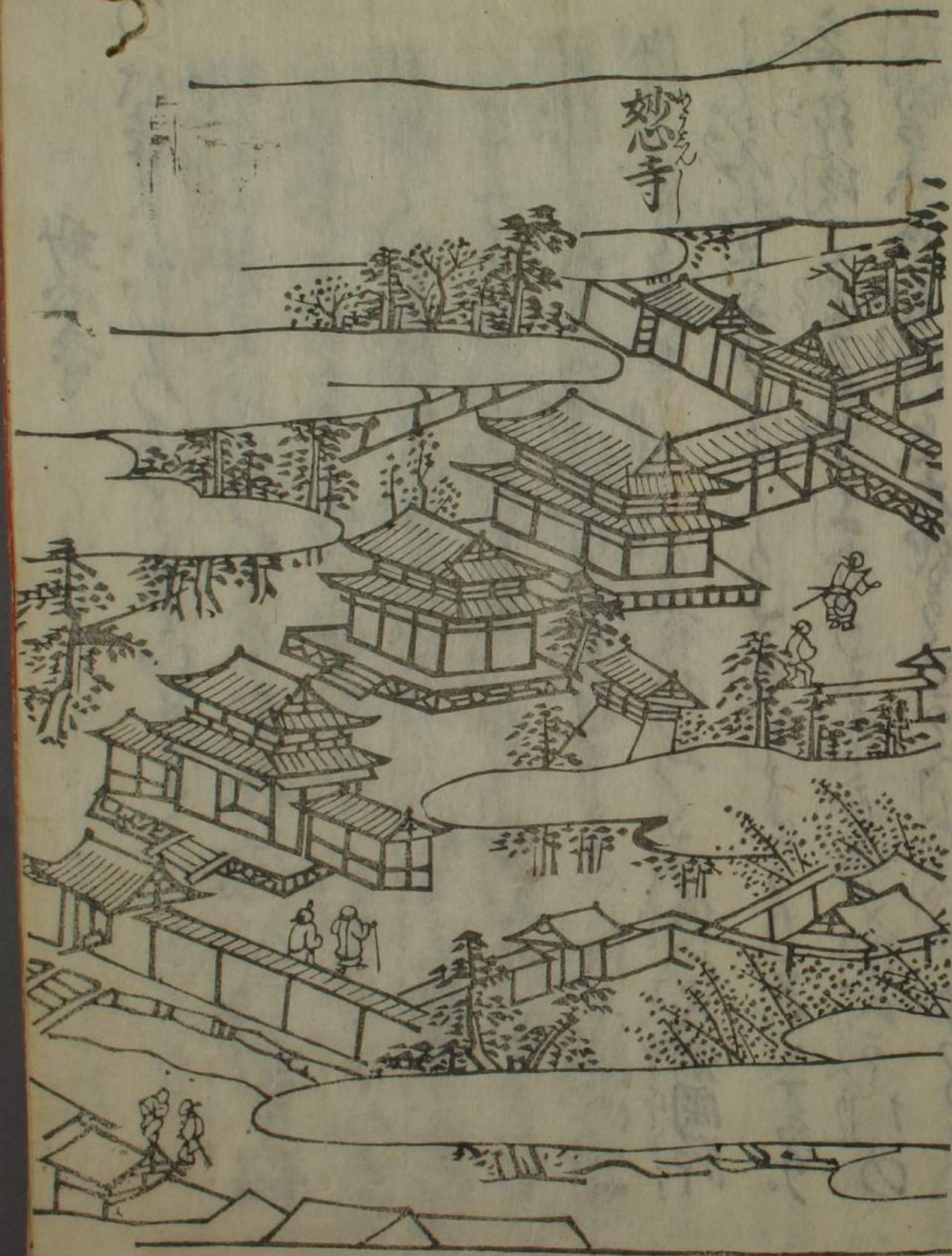
執、痛、志、の、び、の、う、ら、う、け、し、た、し、の、ま、う、
な、り、と、て、ぬ、九、歳、乃、と、も、父、母、と、を、に、さ、く
め、り、ぬ、う、く、て、宅、は、も、れ、し、高、尾、山、ま、
上、覺、り、た、ら、ぬ、俱、舎、願、と、り、又、旬、日、内
に、う、く、と、ん、じ、ゆ、ら、と、ぬ、一、日、群、鬼、お、し、し
ま、に、し、れ、あ、を、お、し、に、矢、を、お、け、ら、ん、
父、母、の、劇、苦、と、も、さ、ら、び、ま、う、天、眼、も、く、ハ
く、お、く、い、ら、う、し、れ、く、と、り、ん、を、の、を、し、も
ゆ、と、く、願、業、は、は、と、め、十、九、歳、ら、り、内、を、
遊、学、を、と、り、し、密、乘、は、る、實、に、こ、く、
雜、美、は、景、雅、日、な、う、ひ、十、三、り、て、諸、佛

身命はたけくもび。鶴とともくひ。虎にうらむ
はきこむとくく。夜いじそく。屍陀林にけり。曙
はいつふかよて。止宿しけり。おど。傷害せられぬ。
又文殊師利に帰し。月と九字呪法持し
らつる。一。十六より。上覺にけり。新法
一。東大寺。名戒壇にけり。く。受具し。十
九より。興然阿闍梨とす。ぐい。あ部の密法
けり。けり。北山乃梅尾にけり。眞音
宗とす。か人。惣。或。時。戸部尚書長房かき。さら
く。我々の心。金師子。尊。法。く。信。こと。うら
その。けり。と。つ。る。に。孫。づ。く。ハ。法。く。と。奥

ど。あ。ゆ。し。知。と。か。は。ら。光。顯。抄。二。卷。は。き。ら
む。心。術。と。も。く。一。坐。禪。次。孫。并。入。解。脱。義
二。卷。は。た。く。一。は。の。に。仏。眼。明。妃。乃。法。法。修
し。ゆ。し。に。初。夜。の。供。け。る。と。く。堂。外。に
り。そ。け。り。念。誦。の。時。群。猪。西。方。に。見。く。東。に
り。ぞ。の。え。な。る。女。あ。り。背。小。大。星。法。け。り。
し。に。い。り。む。く。け。り。く。く。く。く。本。如。仏。眼
そ。か。く。ち。を。け。り。又。多。に。明。妃。け。り
し。に。ぬ。日。般。若。理。趣。分。法。さ。つ。け。り。と。ま。り。
分。法。の。名。年。内。壇。上。一。理。趣。法。誦。と。す。
音。つ。ま。り。や。り。や。き。と。い。て。く。く。と。記。し

經句乃遺忘せむはまゝく乞ゆるに於
毛ひじにたゞくくさくさく思ふて不動乃
法修せしむ。其塔にりや此花苑と
なす。室蓋をぬきめは奇香の方にはり。
梵僧より鐘入るに香炉をとりたゞく
かきめり。又修供乃侍者良證と呼ぶ
しゆ。水桶におりたる。蜂虫にけり。
うさく。小鳥とくく。一日をさく。
仏眼にさる。血像壇供哭にり。にり。
とく。や。文殊に詠對。感事とく。
病卧乃相。受す。一杯。義。はく。思ひ

てりり。餘味。口。乃りり。疾もい。念ゆる。如
梅尾乃りり。はく。はく。はく。はく。承
えく。まに。弘列。はく。内崎山に。如藍と
はく。四年。はく。梅尾に。はく。實喜。西
正月。七日。夜。彌勒像。はく。坐。入
祝。はく。息。はく。龍の
角乃。宝珠。はく。煙。はく。雲の。はく。
え。又。はく。口。乃。中。はく。白光。はく。形。はく。
らく。はく。定。はく。出。はく。はく。はく。の
法儀。はく。の。十九日。の。はく。はく。はく。
始。はく。南無彌勒菩薩。はく。と。はく。目と



妙心寺



大秦



廣隆寺 蜂崗寺

○此寺之仁和寺也南す〜東乃〜あり
 本寺ハ藥師佛也

應神天皇十三年に秦氏しんしの支那しなと
 来りて〜蚕虫さんちゆうとや〜の織オリをばしめ。
 帛綿ひきわたをば〜て〜の膚かわをわ〜る
 け〜ゆるめ天皇より〜貴人きじんの〜
 心海國しんかいこく葛野郡かしのの大秦しんしの地と〜
 又〜の〜巴は偶ぐ〜ゆ〜
 秦氏しんしけ地ち〜秦始しんし白はく鹿ろくと

一
いへくさるにしろ大のさうげとさうく大
秦と号とと也

推古十一冬十一月。聖徳太子侍臣をり

うらうらと終つて一像とさうく推古

聖徳太子侍臣をり

うらうらと終つて一像とさうく推古

うらうらと終つて一像とさうく推古

本鴻

○けふのあまのつらぬかた

○まうらひの水もなうらまを海にわよのつらぬ

うらうらと終つて一像とさうく推古

